

## 九州山口シニアクラブ

### 今年度の現退対話会議、地協でのシニア活動の協議を要請

JAM九州・山口は5月13日、福岡市の日本タングステン本社で今年度の現退対話会議を開き、双方から25人が参加した。

まず、現役の藤吉執行委員長、シニアクラブ松井会長が挨拶後、出席者が自己紹介を行った。報告事項ではシニア会員数などの現況や年間予算、活動を紹介した。次にJAM九州・山口が本部方針を受け、シニアクラブの組織拡大や活動のサポートを目的に7地協に呼びかけた組合役員退職者との交流会の実施状況が報告され、実施または予定は福岡、筑豊、山口の3地協、予定なしが4地協に及ぶなど課題を残している。

シニアクラブからの要望として二点を示し協力を求めた。一つは会員が皆無の佐賀地協選出の執行委員から該当単組に伝えるとの約束が示された。二つは地協毎の現退交流を定例化する。その際はシニア幹事の参加と、地協でのシニアクラブ活動について協議するよう求めた。現退交流の予定なしとする4地協の動向に注目したい。近くの居酒屋での交流会では交歓の場を大いに広め、現退対話会議を終えた。